

本予告は、現時点で構想中のものであり、今後、文部科学省等関係者と調整の上、令和8年度に文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査を受ける予定です。
なお、構想は審査結果によって確定するものであり、変更の可能性があります。

学士課程再編に伴う令和9年度福島大学入学者選抜方法等について（予告）

令和7年7月1日

令和7年9月12日更新

令和8年3月25日更新

国立大学法人福島大学

はじめに

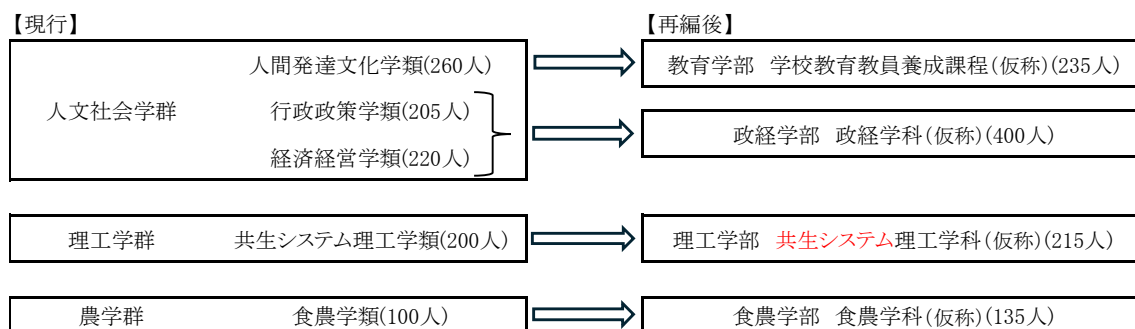
令和9年度学士課程再編の構想内容等については、本学ホームページ上の「福島大学グランドデザイン2040ー学士課程再編ー」に掲載しております。掲載箇所のURLは次のとおりです。<https://www.fukushima-u.ac.jp/2040/granddesign2040.html>

なお、掲載内容については、随時更新していきます。

1. 再編後の教育組織および入学定員

令和9(2027)年度から下図のとおり、現行の3学群(人文社会学群・理工学群・農学群)5学類(人間発達文化学類・行政政策学類・経済経営学類・共生システム理工学類・食農学類)から4学部(教育学部(仮称)・政経学部(仮称)・理工学部(仮称)・食農学部(仮称))に再編します。

人文社会学群行政政策学類夜間主(入学定員20人)については、令和8年4月をもって学生受入を停止します。



2. 募集人員等

一般選抜(前期日程・後期日程), 総合型選抜, 学校推薦型選抜, および私費外国人留学生選抜により学生募集を行います。

[現行: 令和8年度入学者選抜まで] 単位: 人

学群	学 類	コ ー ス 等		入 学 員	募 集 人 員					
					一般選抜		総合型選抜	学校推薦 型選抜	私費外国人 留学生選抜	
										前期日程
人 文 社 会 学 群	人間発達 文化学類	教育実践コース		260	15	A系 6		14	各コース 若干名	
		心理学・幼児教育コース			20			7		
		特別支援・生活科学コース			12			13		
		芸術・表現コース			12		8	8		
		人文科学コース			60		15			
		数理自然科学コース			15		11			
		スポーツ健康科学コース			20	12	6			
		小 計			154	12	20	74		
		行政政策 学 類	昼間		地域政策と法コース		185	108		35
	地域社会と文化コース									
	夜間主		地域政策と法コース		20			20		
			地域社会と文化コース							
	小 計		205	108	35	20	42	若干名		
	経済経営 学 類	経済学コース 経営学コース		220	115	40	11	A推薦 25 B推薦 25	5	
	理 工 学 群	共 生 システム 理工学類	情報理工学コース メカトロニクスコース 分子デザイン科学コース 環境システムコース		200	102	50	一般枠 24	16	若干名
								理系教育 女性人材 育成枠 8		
	農 学 群	食農学類	食品科学コース 農業生産学コース 生産環境学コース 農業経営学コース		100	60	20	20		若干名
合 計				985	538	157	103	182	5	



[再編後: 令和9年度入学者選抜から] 単位: 人

学部	学科等	コ ー ス ・ 系		入 学 員	募 集 人 員								
					一般選抜		総合型選抜			学校推薦 型選抜	私費外国人 留学生選抜		
					前期日程	後期日程							
（教 仮 称 学 ）部	学校教育 教員養成 課程 (仮称)	地域課題探究コース グローバル探究コース STEAM教育コース 教育臨床コース インクルーシブ教育コース	国語系	235	59	33	地域教員 希望枠20	探究枠	5	8			
			英語系						5	8			
			社会科系						5	8			
			心理・表現系						10	5			
			算数・数学系		21				5	8			
			理科系						5	7			
			保健体育系						4	7			
			小計		92				33	20		39	51
			（政 仮 称 学 ）部		政経学科 (仮称)				産業・地域社会イノベーションコース 経済経営コース 公共政策デザインコース	400		210	50
（理 仮 工 称 学 ）部	共生システム理工学 科 (仮称)	情報理工学コース メカトロニクスコース 分子デザイン科学コース 環境システムコース	215	113	50	一般枠 28		16	若干名				
						理系教育 女性人材 育成枠 8							
（食 仮 農 称 学 ）部	食農学科 (仮称)	食品科学コース 農業科学コース フィールド環境学コース 農業経営学コース	135	75	20	40			若干名				
合 計			985	490	153	175		157	10				

3. 各学部の入学者選抜の内容等（私費外国人留学生選抜除く）

（1）教育学部（仮称）（6～14ページ）

①一般選抜（前期日程・後期日程）

- ・別表1－1参照（6～7ページ）
- ・一般選抜前期日程の「算数・数学系，理科系」では、個別学力検査としてペーパーインタビューを導入します。詳細については8～10ページを参照してください。

②総合型選抜

- ・別表1－2参照（11～12ページ）

③学校推薦型選抜

- ・別表1－3参照（13～14ページ）

（2）政経学部（仮称）（15～19ページ）

①一般選抜（前期日程・後期日程）

- ・別表2－1参照（15ページ）

②総合型選抜

- ・別表2－2参照（16～17ページ）

③学校推薦型選抜

- ・別表2－3参照（18～19ページ）

（3）理工学部（仮称）（20～24ページ）

①一般選抜（前期日程・後期日程）

- ・令和8年度共生システム理工学類入学者選抜方法から定員以外の変更はありません
- ・別表3－1参照（20ページ）

②総合型選抜

- ・令和8年度共生システム理工学類入学者選抜方法から定員以外の変更はありません
- ・別表3－2参照（21～23ページ）

③学校推薦型選抜

- ・令和8年度共生システム理工学類入学者選抜方法から変更はありません
- ・別表3－3参照（24ページ）

（4）食農学部（仮称）（25～26ページ）

①一般選抜（前期日程・後期日程）

- ・令和8年度食農学類入学者選抜方法から定員以外の変更はありません
- ・別表4－1参照（25ページ）

②総合型選抜

- ・別表4－2参照（26ページ）

4. 私費外国人留学生選抜

〔1〕出願資格（全学部共通）

次の（1）（2）（3）（4）の条件をすべて満たす者とします。

（1）日本国籍を有しない者

（注）日本国籍を有しない者であっても，日本の高等学校等を卒業した者または（2027）年3月に卒業見込みの者，および日本の永住許可を得ている者（特別永

住者を含む)は、この選抜には出願できません。

- (2) 出入国管理及び難民認定法において大学入学資格に支障のない在留資格を有する者および取得できる見込みの者

(注) 在留資格によっては、本学の私費外国人留学生選抜に出願できない場合があるので、事前に本学入試課に照会してください。

- (3) 次のいずれかに該当する者

- ①外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者(令和 9 (2027) 年 3 月までに修了見込みの者を含む)、またはこれに準ずる者で、文部科学大臣の指定した者
- ②スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者
- ③ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者
- ④フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者
- ⑤グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格またはインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を有する者
- ⑥欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格を有する者
- ⑦国際的な評価団体(WASC, CIS, ACSI, NEASC, Cognia, COBIS)から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる 12 年の課程を修了した者または令和 9 (2027) 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- ⑧本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和 9 (2027) 年 3 月 31 日までに 18 歳に達する者※

- (4) 独立行政法人日本学生支援機構の実施する日本留学試験を各学類が指定した方法で受験した者

※ 出願資格の(3)⑧により出願を希望する者については、個別審査を行います。個別審査の申請に必要な書類については本学入試課へ問い合わせるか、本学ウェブサイト「入試情報」(<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>)を参照してください。

[2] 入学者選抜方法

政経学部(仮称)

- (1) 入学者の選抜は、出願資格の項に示す日本留学試験の成績と、本学が実施する面接の結果から算出された総得点で判断します。
- (2) 出願者は、出願時においてすでに終了した直近の試験を含む 3 回(令和 7 (2025) 年の 11 月および令和 8 (2026) 年の 6 月、11 月)の日本留学試験のいずれかを受験していなければなりません。なお受験科目は、日本語を必須とし、その他 3 教科から選択された 1 教科の計 2 教科を用います。教科および教科内のコース・科目の選択は指定しません。出題言語は、日本語または英語のいずれを選択してもかまいません。

(3) 試験科目および配点等

志望するコース	日本留学試験で受験が必要な教科				本学が実施する試験	総合点
	日本語(必須)	総合科目	理 科	数 学	面 接(必須)	
・産業・地域社会イノベーションコース ・経済経営コース ・公共政策デザインコース	450	(200)	(200)	(200)	200	850

(注) 1. 配点に () を付してある教科は、選択教科を表します。

2. 理科(物理・化学・生物)における理科2科目、および数学のコース1・2の選択は自由とします。

理工学部(仮称)

(1) 入学者の選抜は、出願資格の項に示す日本留学試験の成績と、本学が実施する面接の成績の総合点により判定します。

(2) 出願するためには、令和8(2026)年6月または令和8(2026)年11月に実施される日本留学試験のいずれかを受験していなければなりません。受験教科・科目は、日本語、理科〈物理、化学、生物から2科目選択〉、数学〈コース2〉です。出題言語は、日本語または英語のいずれを選択してもかまいません。

(3) 試験科目および配点等

日本留学試験 100 点(850 点を 100 点に圧縮)、本学が実施する面接 100 点、合計 200 点とします。

(4) 面接では、勉学意欲、日本語能力、理科と数学の基礎学力等を総合的に評価します。

食農学部(仮称)

(1) 入学者の選抜は、出願資格の項に示す日本留学試験の成績と、本学が実施する面接および口頭試問の成績の総合点により判定します。

(2) 出願するためには、令和8(2026)年6月または令和8(2026)年11月に実施される日本留学試験のいずれかを受験していなければなりません。受験教科・科目は日本語、理科〈物理、化学、生物から2科目選択〉、数学〈コース2〉です。出題言語は、日本語に限ります。

(3) 試験科目および配点等

日本留学試験 100 点(850 点を 100 点に圧縮)、本学が実施する面接および口頭試問 100 点、合計 200 点とします。

(4) 面接および口頭試問では、勉学意欲、日本語能力、理科と数学の基礎学力等を総合的に評価します。

5. 留意事項

本予告内容は、令和8年3月時点での情報です。掲載している学部名称、募集人員および選抜内容等については、令和8年度に公表予定の入学者選抜要項および各募集要項で必ず確認してください。

【一般選抜】教育学部(仮称)

コース	系	日程 募集人員	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目名等		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等																																										
			教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国 語	地歴、 公民	数 学	理 科	外国語	情 報	実技 検査	小論文	ペーパーイ ンタビュー	配 点 合 計																																
地域課題探究コース グローバル探究コース STEAM教育コース 教育臨床コース インクルーシブ教育コース	国語系 英語系 社会科系 心理・表現系	前期日程 59人 (国語系14) (英語系14) (社会科系14) (心理・表現系17)	国	「国語」	その他	小論文	共通テスト	200	200	200	100	200	100				1000																																
			地歴、公民	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、 「歴史総合、世界史探究」、「地理総合／歴史総合／公共」、 「公共、倫理」、「公共、政治・経済」 から1または2(欄外参照) *「地理総合／歴史総合／公共」は、地理総合、歴史総合および公共の 3つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答してください。					100		200																																						
									理		〈選択①:「地歴」、「公民」から1科目選択する場合〉 「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」、 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」 から2 〈選択②:「地歴」、「公民」から2科目選択する場合〉 「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」、 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」 から1 *「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は、物理基礎、化学基礎、 生物基礎および地学基礎の4つを出題範囲とし、そのうち2つを選択 解答してください。												400	400																									
			数	数学①「数学Ⅰ、数学A」、「数学Ⅰ」 から1と 数学②「数学Ⅱ、数学B、数学C」																											1400																		
																																外	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」 から1																
							算数・数学系 理科系	前期日程 21人 (算数・数学系14) (理科系7)		情		「情報Ⅰ」 〈選択①〉〔6教科8科目〕 〈選択②〉〔6教科8科目〕または〔7教科8科目〕	その他	ペーパーインタビュー ※詳細は8～10ページを参照	共通テスト	200	200															200	100	200	100				1000										
				100													200																																
				個別学力検査等																				400	400																								
			計																																						1400								
	保健体育系	前期日程 12人	国	「国語」	その他	実技検査	共通テスト	200	100	100	100	200	50				750																																
																		地歴、公民	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、 「歴史総合、世界史探究」、「地理総合／歴史総合／公共」、 「公共、倫理」、「公共、政治・経済」 から1 *「地理総合／歴史総合／公共」は、地理総合、歴史総合および公共の 3つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答してください。																														
																													理	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」、 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」 から1 *「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は、物理基礎、化学基礎、 生物基礎および地学基礎の4つを出題範囲とし、そのうち2つを選択 解答してください。							500	500											
数																		「数学Ⅰ、数学A」、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ、数学B、数学C」 から1																															
																										外	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」 から1																						
																																												情	「情報Ⅰ」 〔6教科6科目〕				

コース	系	日程 募集人員	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目名等		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等																	
			教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国 語	地歴、 公民	数 学	理 科	外国語	情 報	実技 検査	小論文	ペーパーイ ンタビュー	配 点 合 計							
地域課題探究コース グローバル探究コース STEAM教育コース 教育臨床コース インクルーシブ教育コース	国語系 英語系 社会科系 算数・数学系 理科系 保健体育系 心理・表現系	後期日程 33人 (国語系5) (英語系5) (社会科系5) (算数・数学系5) (理科系4) (保健体育系4) (心理・表現系5)	国	「国語」	その他	小論文	共通テスト	200	200	100	200	100					1000							
			地歴、公民	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、 「歴史総合、世界史探究」、「地理総合／歴史総合／公共」、 「公共、倫理」、「公共、政治・経済」 から1または2(欄外参照) *「地理総合／歴史総合／公共」は、地理総合、歴史総合および公共の 3つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答してください。																				
			理	〈選択①:「地歴」、「公民」から1科目選択する場合〉 「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」、 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」 から2 〈選択②:「地歴」、「公民」から2科目選択する場合〉 「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」、 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」 から1 *「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は、物理基礎、化学基礎、 生物基礎および地学基礎の4つを出題範囲とし、そのうち2つを選択 解答してください。					個別学力検査等														200	200
			数	数学①「数学Ⅰ、数学A」、「数学Ⅰ」 から1と 数学②「数学Ⅱ、数学B、数学C」																				
			外	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」 から1																				
			情	「情報Ⅰ」 〈選択①〉〔6教科8科目〕 〈選択②〉〔6教科8科目〕または〔7教科8科目〕			計										1200							

※一般選抜(前期日程)、一般選抜(後期日程)において調査書は、高大接続および学力の3要素評価の観点から、総合判定時の資料として活用します。

【系】欄

- (1) 前期日程について
- ① 出願時の申請「系」について
 - 【国語系、英語系、社会科系、心理・表現系】
 - 出願時に、志望の系を第3志望まで申請することができます。
 - 合格者の決定方法は、全受験者を大学入学共通テストの成績および個別学力検査等の成績の総合得点順に並べ、得点上位者から受験者の志望に応じて順次、合格者を決定します。
 - 【算数・数学系、理科系】
 - 出願時に、志望の系を第2志望まで申請することができます。
 - 合格者の決定方法は、全受験者を大学入学共通テストの成績および個別学力検査等の成績の総合得点順に並べ、得点上位者から受験者の志望に応じて順次、合格者を決定します。
- (2) 後期日程について
- ① 出願時の申請「系」について
 - 出願時に、志望の系を第3志望まで申請することができます。
 - 合格者の決定方法は、全受験者を大学入学共通テストの成績および個別学力検査等の成績の総合得点順に並べ、得点上位者から受験者の志望に応じて順次、合格者を決定します。

【大学入学共通テストの受験を要する教科・科目名等】欄

- (1) 前期日程について
- ① 「地理歴史」、「公民」および「理科」について、指定された範囲の中で指定された科目数以上に受験している場合の判定に用いる科目は以下のとおりとなります。
 - 【国語系、英語系、社会科系、算数・数学系、理科系、心理・表現系】
 - 「地理歴史」、「公民」から2科目、「理科」から2科目受験した場合、それぞれの「第1解答科目」の2科目と「第2解答科目」のどちらか高得点の1科目、合計3科目を判定に用います。
 - 【保健体育系】
 - 「地理歴史」、「公民」から2科目、「理科」から2科目受験した場合、それぞれの「第1解答科目」を判定に用います。
 - 「地理歴史」、「公民」から2科目受験した場合、「第1解答科目」を判定に用います。
 - 「理科」から2科目受験した場合、「第1解答科目」を判定に用います。
 - ② 「地理歴史」、「公民」から2科目選択する場合は、右図の中から選択してください。×印の選択はできません。
 - ③ 「理科」を「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」とする場合は、4つの出題範囲のうち2つを選択解答してください。また、理科を2科目受験する場合、「基礎を付した出題範囲」と「基礎を付していない科目」で同一名称を含む出題範囲と科目を選択しても構いません。
 - ④ 「外国語」の「英語」については、リーディングおよびリスニングを課します。(リスニングを免除された場合は、リーディングのみとなります。)
 - ⑤ 過年度の大学入学共通テストの成績については利用しません。令和9年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。
- (2)後期日程について
- ① 「地理歴史」、「公民」および「理科」について、指定された範囲の中で指定された科目数以上に受験している場合の判定に用いる科目は以下のとおりとなります。
 - 「地理歴史」、「公民」から2科目、「理科」から2科目受験した場合、それぞれの「第1解答科目」の2科目と「第2解答科目」のどちらか高得点の1科目、合計3科目を判定に用います。
 - ② 「地理歴史」、「公民」から2科目選択する場合は、右図の中から選択してください。×印の選択はできません。
 - ③ 「理科」を「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」とする場合は、4つの出題範囲のうち2つを選択解答してください。また、理科を2科目受験する場合、「基礎を付した出題範囲」と「基礎を付していない科目」で同一名称を含む出題範囲と科目を選択しても構いません。
 - ④ 「外国語」の「英語」については、リーディングおよびリスニングを課します。(リスニングを免除された場合は、リーディングのみとなります。)
 - ⑤ 過年度の大学入学共通テストの成績については利用しません。令和9年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄

- (1) 前期日程について
- ① 「地理歴史」、「公民」、「理科」について
 - 上段は、「地理歴史」、「公民」から2科目が用いられた場合の配点を表します。
 - 下段は、「理科」から2科目が用いられた場合の配点を表します。
 - ② 大学入学共通テスト「外国語」の「英語」については、リーディングの得点を200点満点に、リスニングの得点を50点満点に換算した合計得点(250点満点)を、配点(200点満点)に圧縮して利用します。
リスニングを免除された場合は、リーディングの得点を、配点(200点満点)に換算して利用します。
 - ③ 「英語」以外の「外国語」の場合は、筆記の得点をそのまま利用します。
 - ④ 「情報」の配点について、保健体育系は50点満点に圧縮して利用します。
- (2) 後期日程について
- ① 「地理歴史」、「公民」、「理科」について
 - 上段は、「地理歴史」、「公民」から2科目が用いられた場合の配点を表します。
 - 下段は、「理科」から2科目が用いられた場合の配点を表します。
 - ② 大学入学共通テスト「外国語」の「英語」については、リーディングの得点を200点満点に、リスニングの得点を50点満点に換算した合計得点(250点満点)を、配点(200点満点)に圧縮して利用します。
リスニングを免除された場合は、リーディングの得点を、配点(200点満点)に換算して利用します。
 - ③ 「英語」以外の「外国語」の場合は、筆記の得点をそのまま利用します。

大学入学共通テストの「地歴」及び「公民」において、2科目を選択する場合は、下表の「○」で

示す組合せから選択してください。「×」で示す組合せから選択することはできません。

		「地理総・ 地理探」	「歴総・ 日探」	「歴総・ 世探」	「地理総・歴総・公」			「公・倫」	「公・政経」
					地理総 及び 歴総	地理総 及び 公	歴総 及び 公		
「地理総・地理探」			○	○	×	×	○	○	○
「歴総・日探」		○		○	×	○	×	○	○
「歴総・世探」		○	○		×	○	×	○	○
「地理総・ 歴総・公」	地理総 及び 歴総	×	×	×				○	○
	地理総 及び 公	×	○	○				×	×
	歴総 及び 公	○	×	×				×	×
「公・倫」		○	○	○	○	×	×		×
「公・政経」		○	○	○	○	×	×	×	

【ペーパーインタビューの導入について】

一般選抜前期日程の理系枠（算数・数学系，理科系）では、個別学力検査としてペーパーインタビューを実施します。ペーパーインタビューは、面接による試験ではなく、紙面に記載された質問を読んで回答を記述する筆記型の試験です。問題に対する回答を所定の用紙に記述していただきます。

問題として想定しているものは、以下の通りです。

- ・算数・数学の基本的な概念等について、その内容や自身の考えを整理して説明する問題
- ・授業や日常生活の中で遭遇する科学的な現象について、その内容や自身の考えを整理して説明する問題

複数の問題のうち2題程度を選択し、その回答を所定の用紙に記述していただきます。各問題においては、言葉や図、式、その他イラスト等の表現など自由に用いて記述することが想定されます。

【ペーパーインタビュー例題】

一般選抜前期日程の理系枠（算数・数学系，理科系）では、個別学力検査としてペーパーインタビューを実施します。複数の問題のうち2題程度を選択し、その回答を所定の用紙に記述していただきます。

以下に例題を提示しますが、出題形式や内容については変更する可能性があります。

例題1 負の数の概念について、次の問に答えなさい。なお、回答の記述では、言葉や図、式、その他イラスト等の表現も自由に用いてかまいません。

問1 身の回りにある事柄の中で、負の数が現れる場面はどのようなものがあるか説明しなさい。

問2 負の数と負の数の積が正の数になる理由について分かりやすく説明しなさい。

例題2 円周率 π について、次の問に答えなさい。なお、回答にあたって数式・図・イラスト等を用いてもかまいません。

問1 半径 r の円の面積は πr^2 で表される。この理由について分かりやすく説明しなさい。

問2 π の値を近似的に求める方法としてどのようなものが考えられるか自由に記述しなさい。

例題3 次の〈写真〉は、子どもたちと野外炊飯（お好み焼きづくり）を行っている様子を撮影したものです。この写真について、次の問に答えなさい。なお、回答の記述では、言葉や図、式、その他イラスト等の表現も自由に用いてかまいません。

〈写真〉



問 1 写真の中には、様々な科学的な現象や状態が隠れています。あなたが注目した現象または状態について、解答用紙中の写真でその箇所を複数囲みなさい。また、特に注目するものを囲んだものの中から1つ選び、二重線で囲みなさい。

問 2 問 1 において二重線で囲んだ現象や状態について、これまでに学習した科学の知識（物理・化学・生物・地学など）を用いて、中学生が理解できるように説明しなさい。

問 3 問 2 で説明した内容（原理）が正しいかどうかを確かめるために、別の実験や観察を計画します。「もし～ならば、…になるはずだ」という形式で仮説を立て、その仮説を確かめるための具体的な観察・実験の方法を計画し記述しなさい。

例題4 次の〈文章〉を読み、以下の問に答えなさい。なお、回答にあたって数式・図・イラスト等を用いてもかまいません。

〈文章〉

小学5年生のA君は理科の授業で、植物の種子が発芽するためには水、空気、適度な温度が必要であることを習いました。しかしA君は、種子の発芽には日光も必要だと信じています。A君は4年生の1学期の最初の理科の授業でインゲンマメの栽培を行ったことがあり、その時は植木鉢に種子をまいたあと毎日水を与えて2週間待ちましたが、いっこうに発芽しなかったため植木鉢を日当たりの良い場所に移動させてみたところ、翌日に発芽したという体験を覚えていました。

問 A君が4年生の時に栽培したインゲンマメが、日当たりの良い場所に移動させたとともに発芽したのはなぜか。あなたなりの仮説を述べ、その仮説を検証するための実験計画を、できるだけ具体的に記述してください。

実施学部名等	教育学部(仮称) 地域教員希望枠
募集人員	20人 国語系 英語系 社会科系 算数・数学系 理科系 保健体育系 心理・表現系 } 20人
出願資格	次の(1)から(3)のいずれかに該当するとともに、福島県の教員になることを強く希望する者。なおかつ本学部のアドミッションポリシーに適合し、本学部で学ぶ強い意欲を持ち、合格した場合、入学することを確約できる者としてします。 (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和9年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和9年3月修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条の規定(第6号を除く)により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および令和9年3月までにこれに該当する見込みの者 なお、総合型選抜に出願した者が本学部の学校推薦型選抜に出願した場合は、総合型選抜の出願を辞退したものとみなします。
選抜方法	出願時に、志望の系を第3志望まで申請することができます。 小論文(100点)、プレゼンテーションおよび面接(自己推薦書の評価、および面接における口頭試問の評価を含む。100点)の総合点により判定します。
その他	詳細は、令和8年度発表の「総合型選抜学生募集要項」によります。

実施学部名等	教育学部(仮称) 探究枠
募集人員	39人 次の7つの系で募集を行います。 国語系 5人 英語系 5人 社会科系 5人 算数・数学系 5人 理科系 5人 保健体育系 4人 心理・表現系 10人
出願資格	【国語系, 英語系, 社会科系, 算数・数学系, 理科系】 各教科の専門性を深めることを目指すと同時に, 探究的な学びに強い関心・意欲があり, 主に中学校・高等学校の教員となることを目指す者 【保健体育系】 スポーツにおける優れた技能を有すると同時に, 探究的な学びに強い関心・意欲があり, 主に中学校・高等学校の教員となることを目指す者 【心理・表現系】 表現やアート, 生活の観点から, 子どもの心に寄り添った小学校教員となることを目指し, 探究的な学びに強い関心・意欲がある者 【全系共通】 次の(1)から(3)のいずれかに該当するとともに, なおかつ本学部のアドミッションポリシーに適合し, 本学部で学ぶ強い意欲を持ち, 合格した場合, 入学することを確約できる者としてします。 (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和9年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和9年3月修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条の規定(第6号を除く)により, 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および令和9年3月までにこれに該当する見込みの者 なお, 総合型選抜に出願した者が本学部の学校推薦型選抜に出願した場合は, 総合型選抜の出願を辞退したものとみなします。
選抜方法	【国語系, 英語系, 社会科系, 算数・数学系, 理科系, 心理・表現系】 面接(自己推薦書, 探究調書, 事前提出物の評価, および面接における口頭試問の評価を含む, 100点)により判定します。 【保健体育系】 面接(自己推薦書, 探究調書, 事前提出物の評価, および面接における口頭試問の評価を含む, 100点)および実技実績調査(100点)の総合点により判定します。
その他	詳細は, 令和8年度発表の「総合型選抜学生募集要項」によります。

実施学部名	教育学部(仮称)
募集人員	51人 次の7つの系で募集を行います。 国語系 8人 英語系 8人 社会科系 8人 算数・数学系 8人 理科系 7人 保健体育系 7人 心理・表現系 5人
出願資格	【国語系, 英語系, 社会科系, 算数・数学系, 理科系, 保健体育系】 主に小学校教員となることを目指し, 各教科の中学校教員免許の取得を希望する者 【心理・表現系】 小学校教員となることを目指すと同時に, 公認心理師となることを目指す者 【全系共通】 次の(1)から(3)のいずれかに該当するとともに, なおかつ本学部のアドミッションポリシーに適合し, 本学部で学ぶ強い意欲を持ち, 合格した場合, 入学することを確約できる者としてします。 (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和9年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和9年3月修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条の規定(第6号を除く)により, 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および令和9年3月までにこれに該当する見込みの者 なお, 総合型選抜に出願した者が本学部の学校推薦型選抜に出願した場合は, 総合型選抜の出願を辞退したものとみなします。
選抜方法	大学入学共通テストの成績(1000点)および面接(600点)の総合点により判定します。 ○大学入学共通テストで受験を要する教科・科目 「国語」(200点), 「地理歴史」・「公民」・「理科」(300点), 「数学」(200点), 「外国語」(200点), 「情報」(100点)の合計1000点 国語: 「国語」 地理歴史, 公民: 「地理総合, 地理探究」, 「歴史総合, 日本史探究」, 「歴史総合, 世界史探究」, 「地理総合／歴史総合／公共」, 「公共, 倫理」, 「公共, 政治・経済」 から1または2 *「地理総合／歴史総合／公共」は, 地理総合, 歴史総合および公共の3つを出題範囲とし, そのうち2つを選択解答してください。 理科: 〈選択①: 「地理歴史」, 「公民」 から1科目選択する場合〉 「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」, 「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2 〈選択②: 「地理歴史」, 「公民」 から2科目選択する場合〉 「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」, 「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」

	から1 *「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は、物理基礎、化学基礎、生物基礎および地学基礎の4つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答してください。 数学:数学①「数学Ⅰ, 数学A」, 「数学Ⅰ」 から1と 数学②「数学Ⅱ, 数学B, 数学C」 外国語:「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1 情報:「情報Ⅰ」 〈選択①〉〔6教科8科目〕 〈選択②〉〔6教科8科目〕または〔7教科8科目〕 【注意事項】 ① 「地理歴史」, 「公民」から2科目, 「理科」から2科目受験した場合、それぞれの「第1解答科目」の2科目と「第2解答科目」のどちらか高得点の1科目、合計3科目を判定に用います。 ② 「地理歴史」, 「公民」から2科目選択する場合は、7ページ下表の中から選択してください。×印の選択はできません。 ③ 「理科」を「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」とする場合は、4つの出題範囲のうち2つを選択解答してください。また、「理科」を2科目受験する場合、「基礎を付した出題範囲」と「基礎を付していない科目」で同一名称を含む出題範囲と科目を選択しても構いません。 ④ 「地理歴史」, 「公民」, 「理科」の配点については、2科目が用いられた教科を200点満点、1科目が用いられた教科を100点満点として配点します。 ⑤ 「外国語」の「英語」については、リーディングおよびリスニングを課します(リスニングを免除された場合は、リーディングのみとなります)。また、リーディングの得点を200点満点に、リスニングの得点を50点満点に換算した合計得点(250点満点)を、配点(200点満点)に圧縮して利用します。リスニングを免除された場合は、リーディングの得点を、配点(200点満点)に換算して利用します。「英語」以外の「外国語」の場合は、筆記の得点をそのまま利用します。 ⑥ 過年度の大学入学共通テストの成績については利用しません。令和8年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。 ○個別学力検査等 面接(600点)
その他	(1) 出身学校長が推薦できる人数に制限はありません。 (2) 詳細は、令和8年度発表の「学校推薦型選抜学生募集要項」によります。

コース	日程 募集人員	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目名等		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等									
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国 語	地歴、 公民	数 学		理 科	外国語	情 報	小論文	配 点 合 計
									数学①	数学②					
産業・地域社会イノベーションコース 経済経営コース 公共政策デザインコース	前期日程 210人	国 地歴、公民	「国語」 「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、 「歴史総合、世界史探究」から2 または、 「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、 「歴史総合、世界史探究」から1 「公共、倫理」、「公共、政治・経済」から1	外国語 その他	英語（英語コミュニケーションⅠ， 英語コミュニケーションⅡ， 英語コミュニケーションⅢ， 論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ， 論理・表現Ⅲ） 小論文	}	から1	共通テスト	200	400	100	200	*100 *200	}	1100
	後期日程 50人	数 理	数学①「数学Ⅰ，数学A」および 数学②「数学Ⅱ，数学B，数学C」 「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」， 「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から1 *「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は、物理基礎、化学 基礎、生物基礎および地学基礎の4つを出題範囲とし、そのうち2つを 選択解答してください。	}	}	から1	個別学力検査等					(400)		(400)	400
		外 情	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1 「情報Ⅰ」 〔6教科8科目〕または〔7教科8科目〕	}	}	から1	共通テスト	*100	*100	*100	*100	*100	*100		300
							個別学力検査等					(100)		(100)	100
		計													400

※一般選抜(前期日程)、一般選抜(後期日程)において調査書は、高大接続および学力の3要素評価の観点から、総合判定時の資料として活用します。

【大学入学共通テストの受験を要する教科・科目名等】欄

○ 前期日程・後期日程について

① 「地理歴史」、「公民」については、2科目のうち少なくとも1科目は、「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」より選択することとします。

② 「理科」については、

a. 2科目受験している場合は、第1解答科目を判定に用います。

b. 「理科」を2科目選択する場合は、「基礎を付した出題範囲」と「基礎を付していない科目」で同一名称を含む出題範囲と科目を選択しても構いません。

③ 「外国語」の「英語」については、リーディングおよびリスニングを課します(リスニングを免除された場合は、リーディングのみとなります)。

④ 過年度の大学入学共通テストの成績については利用しません。令和9年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。

【個別学力検査等】欄

○ 前期日程・後期日程について

① 「外国語」の「英語」については、「音声内容」は含みません。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄

(1) 前期日程について

① 配点に()を付してある教科は、選択教科を表します。

② 科目群A(「地理歴史」、「公民」)の合計得点と、科目群B(「数学②」と「情報Ⅰ」のうち高得点の1科目と「数学①」)との合計得点とを比較し、合計得点の高い科目群を2倍に傾斜配点します。(科目群Aが高得点の場合は上段、科目群Bが高得点の場合は下段)＊印を付してある「数学②」と「情報」は、それぞれ受験が必要ですが、高得点の1科目を用います。

③ 大学入学共通テスト「外国語」の「英語」については、リーディングの得点を200点満点に、リスニングの得点を50点満点に換算した合計得点(250点満点)を、配点(200点満点)に圧縮して利用します。

リスニングを免除された場合は、リーディングの得点を、配点(200点満点)に換算して利用します。

「英語」以外の「外国語」の場合は、筆記の得点をそのまま利用します。

(2) 後期日程について

① 配点に()を付してある教科は、選択教科を表します。

② 解答した〔6教科8科目〕または〔7教科8科目〕をそれぞれ100点満点に換算し、そのうち高得点の〔3教科3科目〕を判定に用います。各教科、科目ごとの注意事項は以下のとおりです。

a. 「地理歴史」、「公民」は、第1解答科目(1教科1科目のみ)を判定に用います。

b. 「数学」については、「数学①」と「数学②」をそれぞれ1科目として扱うので、「数学①」と「数学②」が高得点の〔3教科3科目〕に該当する場合は、どちらか高得点の科目を判定に用います。

c. 「外国語」の「英語」については、リーディングの得点を200点満点に、リスニングの得点を50点満点に換算した合計得点(250点満点)を、配点(100点満点)に圧縮して利用します。リスニングを免除された場合は、リーディングの得点を、配点(100点満点)に換算して利用します。英語以外の「外国語」の場合は、筆記の得点を配点(100点満点)に換算して利用します。

【総合型選抜】政経学部(仮称)

別表2-2(1)

実施学部名等	政経学部(仮称) I 型
募集人員	産業・地域社会イノベーションコース 経済経営コース 公共政策デザインコース } 概ね20人
出願資格	次の(1)から(3)のいずれかに該当するとともに、好奇心や探究心の豊かな者。なおかつ本学部のアドミッション・ポリシーに適合し、本学部で学ぶ強い意欲を持ち、合格した場合、入学することを確約できる者としします。 (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和9年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和9年3月修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条の規定(第6号を除く)により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および令和9年3月までにこれに該当する見込みの者 なお、総合型選抜に出願した者が本学部の学校推薦型選抜に出願した場合は、総合型選抜の出願を辞退したものとみなします。
選抜方法	第1次選抜、第2次選抜により行います。 <第1次選抜> 書類審査。課題図書(事前に提示)に基づくレポートと志願理由書によって、30人程度を選抜します。調査書は書類審査のための基礎資料として使用します。 <第2次選抜> 課題図書に基づくグループディスカッション(100点)と面接試験(100点)によって選抜します。
その他	詳細は、令和8年度発表の「総合型選抜学生募集要項」によります。

実施学部名等	政経学部(仮称) II型(指定検定資格要件:英語)
募集人員	産業・地域社会イノベーションコース 経済経営コース 公共政策デザインコース
出願資格	次の(1)から(3)のすべてに該当するとともに、一定の英語能力があり、グローバルな視点から社会課題の解決に取り組む意欲をもつ者。なおかつ本学部のアドミッション・ポリシーに適合し、合格した場合、入学することを確約できる者とします。 (1) 次の①から③のいずれかに該当する者 ①高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和9年3月卒業見込みの者 ②通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和9年3月修了見込みの者 ③学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条の規定(第6号を除く。)により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者および令和9年3月までにこれに該当する見込みの者 (2) 調査書の全体の学習成績の状況(評定平均値)が3.5以上の者 (3) 以下に指定する①から③の語学検定試験のいずれかにおいて、一定の基準に達している者 ①(公財)日本英語検定協会主催 実用英語技能検定(英検)CSEスコア1850点以上 ※「英検 S-CBT」「英検 2020 1day S-CBT」「英検 CBT」を含む)の受験によって得られた成績を、従来方式と同等に扱います。 ②(一財)国際ビジネスコミュニケーション協会主催 TOEIC L&R 480点以上 ③ETS Japan 合同会社主催 TOEFL iBT 50点以上 ※「TOEFL iBT Home Edition」「TOEFL iBT Special Home Edition」を含む)の受験によって得られた成績を、従来方式と同等に扱います。 なお、総合型選抜に出願した者が本学部の学校推薦型選抜に出願した場合は、総合型選抜の出願を辞退したものとみなします。
選抜方法	第1次選抜、第2次選抜により行います。 <第1次選抜> 書類審査。課題図書(事前に提示)に基づくレポートと志願理由書によって、30人程度を選抜します。調査書は書類審査のための基礎資料として使用します。 <第2次選抜> 課題図書に基づくグループディスカッション(100点)と面接試験(100点)によって選抜します。
その他	詳細は、令和8年度発表の「総合型選抜学生募集要項」によります。

【学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）】 政経学部（仮称）

別表2-3(1)

実施学部名	政経学部（仮称） A推薦
募集人員	産業・地域社会イノベーションコース 経済経営コース 公共政策デザインコース } 65人
出願資格	次の(1)から(3)のいずれかに該当するとともに、経済学、経営学、政治学、法学、社会学などを通じて社会課題を解決することに強い意欲を持つ者。なおかつ本学部のアドミッション・ポリシーに適合する者としてします。 (1) 高等学校（特別支援学校（盲学校、聾学校および養護学校を含む。）の高等部ならびに中等教育学校の後期課程を含む。）を令和9年3月卒業見込みの者 (2) 学校教育法施行規則第93条第3項の規定により令和8年度中に高等学校を卒業または卒業見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設を令和8年4月から令和9年3月までに修了または修了見込みの者
推薦要件	次のすべての要件に該当する者のうち、学校長が責任を持って推薦し、合格した場合には入学することを確約できる者としてします。 (1) 調査書の全体の学習成績の状況（評定平均値）が4.0以上の者 (2) 学力・人物が優れている者
選抜方法	小論文（100点満点）と面接（50点満点）の成績の総合点により判定します。出願書類は判定の基礎資料として利用します。
その他	(1) 出身学校長が推薦できる人数は、A推薦およびB推薦をあわせて制限はありません。 (2) 詳細は、令和8年度発表の「学校推薦型選抜学生募集要項」によります。

【学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）】 政経学部（仮称）

別表2-3(2)

実施学部名	政経学部（仮称） B推薦（指定検定資格要件：簿記）
募集人員	産業・地域社会イノベーションコース 経済経営コース 公共政策デザインコース } 25人
出願資格	次の(1)から(3)のいずれかに該当するとともに、簿記に関連する資格を持ち、会計学などを通じて社会課題を解決することに強い意欲を持つ者。なおかつ本学部のアドミッション・ポリシーに適合する者としてします。 (1) 高等学校（特別支援学校（盲学校、聾学校および養護学校を含む。）の高等部ならびに中等教育学校の後期課程を含む。）を令和9年3月卒業見込みの者 (2) 学校教育法施行規則第93条第3項の規定により令和8年度中に高等学校を卒業または卒業見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設を令和8年4月から令和9年3月までに修了または修了見込みの者
推薦要件	次のすべての要件に該当する者のうち、学校長が責任を持って推薦し、合格した場合には入学することを確約できる者としてします。 (1) 調査書の全体の学習成績の状況（評定平均値）が3.8以上の者 (2) 以下の検定試験のいずれかに合格している者 ①日本商工会議所主催 簿記検定試験1級または2級（なお、1級に合格している者は推薦書裏面の資格記入欄に朱記すること。） ②（公財）全国商業高等学校協会主催 簿記実務検定試験1級 (3) 学力・人物が優れている者
選抜方法	小論文（100点満点）、面接（50点満点）、朱記要件加算（50点）の成績の総合点により判定します。 出願書類は判定の基礎資料として利用します。
その他	(1) 出身学校長が推薦できる人数には、A推薦およびB推薦をあわせて上限はありません。 (2) 詳細は、令和8年度発表の「学校推薦型選抜学生募集要項」によります。

別表3－1

【一般選抜】理工学部(仮称)

コース	日程 募集人員	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目名等		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等								
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国 語	地歴、 公民	数 学	理 科	外国語	情 報	面 接	配 点 合 計
情報理工学コース メカトロニクスコース 分子デザイン科学コース 環境システムコース	前期日程 113人	国	「国語」	数学	数学 (数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学Ⅲ, 数学A, 数学B, 数学C) 理科 「物理基礎・物理」 「化学基礎・化学」 「生物基礎・生物」	共通テスト	200	100	300	200	200	100		1100
		地歴、公民	「地理総合, 地理探究」, 「歴史総合, 日本史探究」, 「歴史総合, 世界史探究」, 「地理総合／歴史総合／公共」, 「公共, 倫理」, 「公共, 政治・経済」 から1 *「地理総合／歴史総合／公共」は, 地理総合, 歴史総合および公共 の3つを出題範囲とし, そのうち2つを選択解答してください。	理科		個別学力検査等			(300)	(300) (300)				600
		数	数学①「数学Ⅰ, 数学A」および 数学②「数学Ⅱ, 数学B, 数学C」			計								1700
	後期日程 50人	理	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」, 「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から2 *「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は, 物理基礎, 化学 基礎, 生物基礎および地学基礎の4つを出題範囲とし, そのうち2つを 選択解答してください。	その他	面接	共通テスト	200	100	400	200	200	100		1200
		外	「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1			個別学力検査等							300	300
		情	「情報Ⅰ」			計								1500
			[6教科8科目]											

※一般選抜(前期日程), 一般選抜(後期日程)において調査書は, 高大接続および学力の3要素評価の観点から, 総合判定時の資料として活用します。

【大学入学共通テストの受験を要する教科・科目名等】欄

○ 前期日程・後期日程について

① 「地理歴史」, 「公民」から2科目受験している場合は, 第1解答科目を判定に用います。(2科目選択する場合は, 右図の中から選択してください。×印の選択はできません。)

② 「理科」については, 「基礎を付した出題範囲」と「基礎を付していない科目」で同一名称を含む出題範囲と科目を選択することはできません。

③ 「外国語」の「英語」については, リーディングおよびリスニングを課します(リスニングを免除された場合は, リーディングのみとなります)。

④ 過年度の大学入学共通テストの成績については利用しません。令和9年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。

【個別学力検査等】欄

(1) 前期日程について

① 「数学」の出題範囲は「全範囲」とします。

② 「理科」の「物理」, 「化学」, 「生物」については全領域とします。

(2) 後期日程について

① 個別学力検査等は「面接」とします。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄

○ 前期日程・後期日程について

① 大学入学共通テスト「数学」については, 前期の得点は300点満点に, 後期の得点は400点満点に換算して利用します。

② 「外国語」の「英語」については, リーディングの得点を200点満点に, リスニングの得点を50点満点に換算した合計得点(250点満点)を, 配点(200点満点)に圧縮して利用します。

リスニングを免除された場合は, リーディングの得点を, 配点(200点満点)に換算して利用します。

「英語」以外の「外国語」の場合は, 筆記の得点をそのまま利用します。

大学入学共通テストの「地歴」及び「公民」において、2科目を選択する場合は、下表の「○」で示す組合せから選択してください。「×」で示す組合せから選択することはできません。

		「地理総・ 地理探」	「歴総・ 日探」	「歴総・ 世探」	「地理総・歴総・公」			「公・倫」	「公・政経」
					地理総 及び 歴総	地理総 及び 公	歴総 及び 公		
「地理総・地理探」			○	○	×	×	○	○	○
「歴総・日探」		○		○	×	○	×	○	○
「歴総・世探」		○	○		×	○	×	○	○
「地理総・ 歴総・公」	地理総 及び 歴総	×	×	×				○	○
	地理総 及び 公	×	○	○				×	×
	歴総 及び 公	○	×	×				×	×
「公・倫」		○	○	○	○	×	×		×
「公・政経」		○	○	○	○	×	×	×	

実施学部名等	理工学部（仮称） 一般枠
募集人員 （検討中）	情報理工学コース メカトロニクスコース 分子デザイン科学コース 環境システムコース } <b style="color: red;">28人 （注）所属コースは1年次後期末に本人の希望と入学後の成績に基づいて決定します
出願資格	次の(1)から(3)のすべてに該当する者としします。 (1)以下のいずれかに該当する者 (1a) 高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和9年3月卒業見込みの者 (1b) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和9年3月修了見込みの者 (1c) 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条の規定(第6号を除く。)により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者および令和9年3月までにこれに該当する見込みの者 (2) 本学部のアドミッション・ポリシーに適合し、本学部で学ぶ強い意欲を持ち、合格した場合に入学を確約する者 (3)以下のいずれかに該当する者 (3a) 出願時まで実用英語技能検定試験2級以上に合格、または、TOEIC L&R 550点以上、TOEIC S&W 240点以上、TOEFL iBT 42点以上いずれかのスコアを有する者 ※TOEFL iBTは、「TOEFL iBT Home Edition」(「TOEFL iBT Special Home Edition」を含む)の受験によって得られた成績を、従来方式と同等に扱います。 (3b) 高等学校を卒業した者(卒業見込みの者)で、高等学校在学中に「科学に関する探索的活動」に取り組み、出願時まで学外での発表・コンテスト参加等の経験を有する者 (3c) 調査書の全体の学習成績の状況(評定平均値)が4.0以上の者で、高等学校において数学「数学Ⅲ、数学Cのうち1科目以上」、および、理科「物理(物理基礎を除く)、化学(化学基礎を除く)、生物(生物基礎を除く)、地学(地学基礎を除く)のうち1科目以上」を履修した者または履修している者
選抜方法	第1次選抜、第2次選抜により行います。 ＜第1次選抜＞ 出願時に提出された志願理由書および出願書類を総合的に評価し、一般枠および理系教育女性人材育成枠あわせて70人程度を第1次選抜合格者としします。なお、入学志願者が70人を超えない場合には、第1次選抜を実施せず、第2次選抜のみとしします。 【志願理由書】 以下について、指定様式に記載してください。なお、記載は出願者本人による手書きとしします。 - 出願資格(3)に関する経験・実績(出願者がどのように努力してきたのか、取り組みの過程で学んだ(感じた)こと、本学類での学修にどのように活かそうとするのか) - 将来の目標、それを実現するための計画 - 自己PR ＜第2次選抜＞ 第1次選抜合格者に対して、幅広い分野における科学的なトピックに関する30分程度の模擬授業を行います。授業後に、模擬授業の内容に関する課題レポートの作成を課し、さらに面接を実施します。そして、以下に記した力を総合的に評価し選考します。 ○課題レポート: 模擬授業の内容を聴き取り理解する力、授業内容についての基礎的な知識や思考力を評価します。模擬授業の内容を踏まえ、設定された課題について思考・判断してレポートにまとめる力や表現力を評価します。 ○面接: 面接員との質疑応答を通して、大学生活に対する意欲・関心や自身の考えを伝えるコミュニケーション力・表現力等について評価します。
その他	- 総合型選抜を志願する女子は、出願する枠を以下の中から選択することができます。 ☐ 一般枠 ☐ 理系教育女性人材育成枠 ☐ 一般枠と理系教育女性人材育成枠の併願 - 一般枠と理系教育女性人材育成枠の併願者が両枠に合格した場合、理系教育女性人材育成枠の合格者としします。 - 詳細は、令和8年度発表の「総合型選抜学生募集要項」によります。

実施学部名等	理工学部(仮称) 理系教育女性人材育成枠
募集人員 (検討中)	情報理工学コース メカトロニクスコース 分子デザイン科学コース 環境システムコース } 8人 (注)所属コースは1年次後期末に本人の希望と入学後の成績に基づいて決定します
出願資格	次の(1)から(3)のすべてに該当する者としてします。 (1)以下のいずれかに該当する者 (1a) 高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和9年3月卒業見込みの者 (1b) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和9年3月修了見込みの者 (1c) 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条の規定(第6号を除く。)により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者および令和9年3月までにこれに該当する見込みの者 (2) 本学部のアドミッション・ポリシーに適合し、本学部で学ぶ強い意欲を持ち、合格した場合に入学を確約する者 (3)以下のいずれかに該当する者 (3a) 出願時までに実用英語技能検定試験2級以上に合格、または、TOEIC L&R 550点以上、TOEIC S&W 240点以上、TOEFL iBT 42点以上いずれかのスコアを有する者 ※TOEFL iBTは、「TOEFL iBT Home Edition」(「TOEFL iBT Special Home Edition」を含む)の受験によって得られた成績を、従来方式と同等に扱います。 (3b) 高等学校を卒業した者(卒業見込みの者)で、高等学校在学中に「科学に関する探索的活動」に取り組み、出願時までに学外での発表・コンテスト参加等の経験を有する者 (3c) 調査書の全体の学習成績の状況(評定平均値)が4.0以上の者で、高等学校において数学「数学Ⅲ、数学Cのうち1科目以上」、および、理科「物理(物理基礎を除く)、化学(化学基礎を除く)、生物(生物基礎を除く)、地学(地学基礎を除く)のうち1科目以上」を履修した者または履修している者
選抜方法	第1次選抜、第2次選抜により行います。 <第1次選抜> 出願時に提出された志願理由書および出願書類を総合的に評価し、一般枠および理系教育女性人材育成枠あわせて70人程度を第1次選抜合格者としてします。なお、入学志願者が70人を超えない場合には、第1次選抜を実施せず、第2次選抜のみとします。 【志願理由書】 以下について、指定様式に記載してください。なお、記載は出願者本人による手書きとします。 - 出願資格(3)に関する経験・実績(出願者がどのように努力してきたのか、取り組みの過程で学んだ(感じた)こと、本学類での学修にどのように活かそうとするのか) - 将来の目標、それを実現するための計画 - 自己PR - 理系教育女性人材育成枠に志願する動機・理由 <第2次選抜> 第1次選抜合格者に対して、幅広い分野における科学的なトピックに関する30分程度の模擬授業を行います。授業後に、模擬授業の内容に関する課題レポートの作成を課し、さらに面接を実施します。そして、以下に記した力を総合的に評価し選考します。 ○課題レポート: 模擬授業の内容を聴き取り理解する力、授業内容についての基礎的な知識や思考力を評価します。模擬授業の内容を踏まえ、設定された課題について思考・判断してレポートにまとめる力や表現力を評価します。 以上に加え、課題の問いに対する探究力および思考の柔軟性についても評価します。 ○面接: 面接員との質疑応答を通して、大学生活に対する意欲・関心や自身の考えを伝えるコミュニケーション力・表現力等について評価します。さらに、志願理由書の「4. 理系教育女性人材育成枠に志願する動機・理由」に基づく面接を行い、高等学校において主体的に活動した事例を踏まえ、「理系教育女性人材育成枠」に志願した動機・理由、主体性等についても評価します。

その他	・総合型選抜を志願する女子は、出願する枠を以下の中から選択することができます。 ☐一般枠 ☐理系教育女性人材育成枠 ☐一般枠と理系教育女性人材育成枠の併願 ・一般枠と理系教育女性人材育成枠の併願者が両枠に合格した場合、理系教育女性人材育成枠の合格者とします。 ・詳細は、令和8年度発表の「総合型選抜学生募集要項」によります。
-----	--

【学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）】 理工学部（仮称）

別表3-3

実施学部名	理工学部（仮称）
募集人員 （検討中）	情報理工学コース メカトロニクスコース 分子デザイン科学コース 環境システムコース 16人 （注）所属コースは1年次後期末に 本人の希望と入学後の成績に 基づいて決定します。
出願資格	次の各号のいずれかに該当する者とします。 (1) 高等学校（特別支援学校（盲学校、聾学校および養護学校を含む。）の高等部ならびに中等教育学校の後期課程を含む。）を令和8年3月以降に卒業または令和9年3月卒業見込みの者 (2) 学校教育法施行規則第93条第3項の規定により令和7年4月以降年度の途中に高等学校を卒業または卒業見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設を令和7年4月から令和9年3月までに修了または修了見込みの者
推薦要件	次のすべての要件に該当する者のうち、学校長が責任を持って推薦し、合格した場合には入学することを確約できる者とします。 (1) 本学部のアドミッション・ポリシーに適合し、本学で学ぶ強い意欲を持っている者 (2) 令和9年度大学入学共通テストにおける試験教科・科目のうち、本学が課した教科・科目をすべて受験する者
選抜方法	大学入学共通テストの成績（400点）及び面接の成績（200点）の総合点により判定します。ただし、大学入学共通テスト、面接のいずれかの得点が6割に満たない場合には、不合格とする場合があります。 出願書類は面接の資料として利用します。 ○大学入学共通テストで受験を要する教科・科目 「数学」（200点）、「理科」（200点）の合計 400点 数：「数学Ⅰ、数学Ⅱ」および「数学Ⅲ、数学Ⅳ、数学Ⅴ」 理：「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2または「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」から2出題範囲を選択および「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1 【注意事項】 ①「理科」は、「基礎を付した出題範囲」と「基礎を付していない科目」で同一名称を含む出題範囲と科目を選択することはできません。 ②過年度の大学入学共通テストの成績については利用しません。令和9年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。 ○個別学力検査等 面接（200点）
その他	(1) 出身学校長が推薦できる人数に制限はありません。 (2) 詳細は、令和8年度発表の「学校推薦型選抜学生募集要項」によります。

別表4－1

【一般選抜】食農学部(仮称)

コース	日程 募集人員	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目名等		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等																
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国 語	地歴, 公民	数 学	理 科	外国語	情 報	ペーパー インタビュー	配 点 合 計								
食品科学コース 農業科学コース フィールド環境学コース 農業経営学コース	前期日程 75人	国	「国語」	その他	ペーパーインタビュー	共通テスト	200	100	200	200	200	100		1000								
		地歴, 公民	「地理総合, 地理探究」, 「歴史総合, 日本史探究」, 「歴史総合, 世界史探究」, 「地理総合／歴史総合／公共」, 「公共, 倫理」, 「公共, 政治・経済」 から1 *「地理総合／歴史総合／公共」は, 地理総合, 歴史総合および公共の 3つを出題範囲とし, そのうち2つを選択解答してください。		個別学力検査等													200	200			
		数	数学①「数学Ⅰ, 数学A」および 数学②「数学Ⅱ, 数学B, 数学C」																			
	理	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」, 「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から2 *「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は, 物理基礎, 化学基 礎, 生物基礎および地学基礎の4つを出題範囲とし, そのうち2つを選 択解答してください。				計						1200										
	後期日程 20人	外 情		「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1 「情報Ⅰ」 〔6教科8科目〕	その他								ペーパーインタビュー	共通テスト	200	100	200	200	200	100		1000
													個別学力検査等									
計												1100										

- ※一般選抜(前期日程), 一般選抜(後期日程)において調査書は, 高大接続および学力の3要素評価の観点から, 総合判定時の資料として活用します。
- 【大学入学共通テストの受験を要する教科・科目名等】欄
- 前期日程・後期日程について
 - ① 「地理歴史」, 「公民」から2科目受験している場合は, 第1解答科目を判定に用います。(2科目選択する場合は, 右図の中から選択してください。×印の選択はできません。)
 - ② 「理科」については, 「基礎を付した出題範囲」と「基礎を付していない科目」で同一名称を含む出題範囲と科目を選択することはできません。
 - ③ 「外国語」の「英語」については, リーディングおよびリスニングを課します(リスニングを免除された場合は, リーディングのみとなります)。
 - ④ 過年度の大学入学共通テストの成績については利用しません。令和9年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。
- 【個別学力検査等】欄
- 前期日程・後期日程について
 - ① ペーパーインタビューは, 本学類が求める能力を多面的・総合的に評価するために, 紙面に記載された質問を読んで解答を記述する筆記型の試験です。
- 【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄
- 前期日程・後期日程について
 - ① 大学入学共通テスト「外国語」の「英語」については, リーディングの得点を200点満点に, リスニングの得点を50点満点に換算した合計得点(250点満点)を, 配点(200点満点)に圧縮して利用します。リスニングを免除された場合は, リーディングの得点を, 配点(200点満点)に換算して利用します。「英語」以外の「外国語」の場合は, 筆記の得点をそのまま利用します。

大学入学共通テストの「地歴」及び「公民」において、2科目を選択する場合は、下表の「○」で示す組合せから選択してください。「×」で示す組合せから選択することはできません。

		「地理総・ 地理探」	「歴史・ 日探」	「歴史・ 世探」	「地理総・歴史・公」			「公・倫」	「公・政経」
					地理総 及び 歴史	地理総 及び 公	歴史 及び 公		
「地理総・地理探」			○	○	×	×	○	○	○
「歴史・日探」		○		○	×	○	×	○	○
「歴史・世探」		○	○		×	○	×	○	○
「地理総・ 歴史・公」	地理総 及び 歴史	×	×	×				○	○
	地理総 及び 公	×	○	○				×	×
	歴史 及び 公	○	×	×				×	×
「公・倫」		○	○	○	○	×	×		×
「公・政経」		○	○	○	○	×	×	×	

実施学部名等	食農学部(仮称)
募集人員 (検討中)	食品科学コース 農業科学コース フィールド環境学コース 農業経営学コース } 40人 (地域社会貢献枠概ね25人、 実践教育経験枠概ね15人) (注)所属コースは、 2年次前期終了時 に決定します。
出願資格	地域社会貢献枠 次の(1)から(4)のすべてに該当する者とします。 (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和9年3月卒業見込みの者、または高等専門学校の第3学年を終了見込みの者 (2) 福島県内の高等学校を卒業もしくは卒業見込みの者で、福島県内の農業、農業関連産業、食品関連産業、農林水産行政機関等の次世代の担い手として活躍する強い意欲を持つ者。福島県外の高等学校等を卒業もしくは卒業見込みの者で、福島県内もしくは出身県内の農業、農業関連産業、食品関連産業、農林水産行政機関等で次世代の担い手として活躍する強い意欲を持つ者 (3) 本学部のアドミッション・ポリシーに適合し、本学部で学ぶ強い意志を持ち、合格した場合は入学することを確約できる者 (4) 以下のいずれかを取得している者 ① 実用英語技能検定準2級以上 以下の検定結果でも可 CEFR(ヨーロッパ言語共通参照枠)A2とし IELTS 3.0 以上, TEAP 150 以上, GTEC 690 以上, GTEC CBT 510 以上, TOEIC L&R S&W 385 以上(L&R 225 以上, S&W 160 以上)など ② 実用数学技能検定2級以上 ③ 上記同等、同等以上の資格(例 情報処理検定ビジネス1級など)^(注) 実践教育経験枠 次の(1)から(4)のすべてに該当する者とします。 (1) 高等学校専門学科(農業、工業、商業、情報、水産、家庭、看護、福祉に関する学科)、総合学科もしくは中等教育学校専門学科(農業、工業、商業、情報、水産、家庭、看護、福祉に関する学科)を令和9年3月に卒業見込みの者、または高等専門学校の第3学年を終了見込みの者で、農学を学ぶ強い意欲を持つ者 (2) 本学部のアドミッション・ポリシーに適合し、本学部で学ぶ強い意志を持ち、合格した場合は入学することを確約できる者 (3) 以下のいずれかを取得している者 ① 実用英語技能検定準2級以上 以下の検定結果でも可 CEFR(ヨーロッパ言語共通参照枠)A2とし IELTS 3.0 以上, TEAP 150 以上, GTEC 690 以上, GTEC CBT 510 以上, TOEIC L&R S&W 385 以上(L&R 225 以上, S&W 160 以上)など ② 実用数学技能検定2級以上 ③ 日本農業技術検定3級以上 ④ 日本商工会議所簿記検定2級以上 ⑤ アグリマイスター顕彰制度 シルバー以上 ⑥ 上記同等、同等以上の資格(例 情報処理検定ビジネス1級など)^(注) (注)「上記同等、同等以上の資格」については、本学ウェブサイト「入試情報－募集要項」(https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html)に掲載している別紙を参照してください
選抜方法	【第1次選抜】 書類選考とします。 以下の書類により、熱意と適正の評価を行います。 ・自己推薦書(本学様式) ・調査書 食農学部への適性を判断するため使用 【第2次選抜】 第1次選抜合格者に対し、課題論文を課し、面接を実施します。
その他	詳細は、令和8年度発表の「総合型選抜学生募集要項」によります